

令和7年度津山・英田圏域地域医療構想調整会議（第3回）議事録

日時：令和7年2月20日（木）

18:00～19:30

場所：津山鶴山ホテル

1 開会

2 美作保健所長挨拶

委員の皆様には平素から保健医療提供体制に御尽力・御協力いただき感謝している。

本日は、昨年から当圏域の課題を様々な方から聞かせていただき、検討を進めている救急医療、特に、搬送困難の課題に対して、圏域の皆様と一丸となって取り組んできた内容について御報告させていただく。皆様からしっかり御意見いただきながら今後も検討を続けてまいりたい。

新たな地域医療構想について、国での検討会の内容について医療推進課から御報告いただく。

この会議では様々な意見をいただいてきたが、改めてこの会議の重要性を感じた。この会議で決定したことに御意見、御協力いただきながら実行できたことに大変感謝申し上げます。

今回は、救急搬送困難について取り組んできたが、この圏域には、特に医療従事者の不足等様々な課題があるため、今後も御意見いただきながら検討を続けてまいりたい。

3 議題（司会：大谷議長）

(1) 地域医療構想等について（スライドにて岡山県医療推進課小谷副参事より説明）

- ・新たな地域医療構想等に関する動向

(2) 救急医療体制について（スライドにて美作県民局健康福祉部植田副部長より説明）

- ・今年度の救急医療の取組（救急医療体制の整備、普及啓発）

※議題（2）協議以降、医療機関の経営に関する情報を扱うため非公開とする。

<県病院協会オブザーバー>

- ・いつも光井所長が熱心に救急に取り組んでおられるので、企画に頭が下がる思い。
- ・いつもだが、会場の音声は全く聞こえない。会場でのフリートークはほとんど聞こえなかったので、コメントは控えさせていただく。
- ・人口減少地域の救急について、診療にあたる医師の減少から難しくなるだろう。やはり集約化が必要かと個人的に考える。これは、井笠地区も同様の状況。

<県医師会オブザーバー>

- ・他の地域に先んじて、救急医療について検討されているので参考になると思う。
- ・人材確保については、医師だけでなく、他のスタッフについても、行政には一緒に考えていただきたいと思う。

<地域医療構想アドバイザー：浜田先生>

- ・医療推進課から新たな地域医療構想についての説明があり、2026年に策定、2027年から動き出すということだったが、これまでは病床数だけの議論だった、今後は、外来・在宅・介護との関係・医療機関機能の明確化等、多様な内容が盛り込まれるということで、これからの地域医療構想調整会議は難しくなるだろうと予測する。
- ・地域医療構想調整会議は、なかなか実質的な議論がしにくい場であると感じているが、美作では常に実質的な会議をされていて、示唆に富んだやり方だと感じている。